

緊急救援 台湾地震

最終更新日2002年3月9日

台湾地震活動報告	これまでの流れ(活動経過)
第2次派遣団報告書(1999.11.1-6) 第4次派遣団報告書(2000.7.6-12)	これまでの流れ

■2002年3月9日

<事務局より>

みなさま、ご無沙汰しております。去る2月19日に常任委員会が開かれ、今後の方向性と会計報告が確認されました。

1999年9月21日の地震発生以来、当委員会はこれまで5回の現地派遣を行い、その中で邱明民さんをリーダーとする「台湾希望行程協会」と台中、南投両YMCAを通じて主な支援を行ってきました(詳細は下記参照)。既存の支援プロジェクトについては、今後もモニターを続けるとともに、今後必要であれば追加支援など検討していくことが確認されました。また今までの支援プロジェクトにはない形ですが、「KOBEと台湾の震災復興の比較研究」プロジェクトの立ち上げを検討していくことが確認されました。

こうした委員会からの提案を受けて、第6次派遣として3月12日から3月15日までの短い日程ですが、再度、台湾を訪問することとなりました。会計報告にて報告されましたが、当委員会の残金は約500万円です。台湾地震より2年が経過していることもあり、今回の訪問で、今後の支援内容を決定することになると思います。詳細は、帰国報告を楽しみにして下さい。

【支援プロジェクト一覧】

◆福亀小学校(南投県國姓郷福亀村)への支援

- ・仮設小学校建設費用
- ・歴史資料室
- ・奨学基金

◆福亀村再建委員会への支援

- ・被災者委員会で現活動の主なものは高齢者住民へ配食サービスなどです。

◆100年木造建築(南投県東光村)への支援

- ・震災で残った木造建築を修復し、記念公園として村のコミュニティーの拠点を目指す。

◆ブノ族(南投県潭南村)への支援

- ・村の中心に村民自らが、伝統的建築技法を用いたコミュニティーセンターを建築。

◆各台湾YMCAへの支援

- ・台中、南投YMCAが進めるデイケアセンターへの支援。
- ・震災1周年のシンポジウム開催

[これまでの流れ](#)

■募金の振込先■

郵便振替 口座番号 00970-7-39728

加入者名 阪神大震災地元NGO救援連絡会議

※通信欄に「台湾地震支援」「NGO災害救援金」とお書き下さい。

■「NGO災害救援金」について■

「トルコ地震」の救援活動など、今現在継続して他の地域での災害救援の活動していますので、そちらも同時に支援して下さい。NGO災害救援金も併せてよろしくお願ひいたします。

*構成団体も引き続き募集しておりますので、ご参加のほどよろしくお願ひいたします。現在44団体の構成団体と1団体の後援が加盟しています

台湾地震・緊急救援委員会

「集まれ!! 学生ボランティア'99」実行委員会、エイディアイ災害救援研究所、川崎災害ボランティアネットワーク会議、関西建築家ボランティア、ぐらするーつ、神戸アジアタウン推進協議会、神戸華僑総会、神戸学生青年センター、神戸元気村、神戸国際協力交流センター、神戸定住外国人支援センター、神戸YMCA、コープこうべ、災害救援ネットワーク北海道、SUPPORT-KOBE長野、震災がっせん全国ネットワーク、震災から学ぶボランティアネットの会、震災を生きる宗教者のつどい、須磨青空元気フェスティバル実行委員会、全国大学生協同組合連合、たかとり救援基地、多文化共生センター、地域防災ボランティア横浜、中米緊急援助協議会(AVUCA)、東京災害ボランティアネットワーク、東京ボランティア・市民活動センター、都市生活地域復興センター、とちぎボランティア情報ネットワーク、新潟仏教NGO、新潟よろず医療奉仕団、日本ガーディアン・エンジェルズ、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)、日本青年奉仕協会(JYVA)、日本バプテスト連盟震災現地支援委員会、阪神大震災地元NGO救援連絡会議、阪神大震災被災者市民フォーラム、ひこね国際交流会 VOICE、被災地NGO協働センター、百番目のTシャツ、兵庫県学生ボランティア協議会、兵庫県国際交流協会、ゆめ・風基金、FMわいわい、NGO外国人救援ネット

<後援団体> 全日本仏教婦人連盟(10/20現在)

連絡先 阪神大震災地元NGO救援連絡会議 ngo@pure.ne.jp

兵庫県神戸市兵庫区中道通2-1-10 被災地NGO協働センター 1F 〒652-0801

TEL:078-574-0701 FAX:078-574-0702